

平成31年度



白川小だより

第7号

令和元年9月27日(金)

「協力してやりきる力」をこれからの学校生活に ～運動会終了～

校長 奥村 哲也

9月21日(土)に、白川小大運動会を無事開催することができました。応援ありがとうございました。

赤団は 団長、白団は 団長を中心に、カー杯競い合い、心を込めて演技し、あらん限りの声で応援をしました。白川小学校147年の幕を閉じるにふさわしい姿だったと思います。

私は、プログラム最後の「白小ソーラン」で、「支えてくださった方に、白小に、このグラウンドに、あの櫓にありがとうを伝えよう」と魂を込めて舞う5・6年生の姿に、涙が止まりませんでした。全力の姿は感動を生みます。



さて、運動会の取組では、応援リーダーはもちろんのこと、どの子も自分の役割を果たそうとがんばりました。

6年生の さんは、決勝審判採点の係長として、係の中心となって活動しました。それだけでなく、応援係が困っているときには、応援リーダーと一緒に応援歌を考えたり、応援練習で自ら大きな声を出して場を盛り上げたり、下級生たちに進んで声かけをしたりしました。自分の役割を果たすだけでなく、仲間と共に力を合わせてやりきろうとする姿は、スローガン「たんぼぼ～協力・やりきる・強い心～」を象徴する姿でした。表に出ることはありませんでしたが、縁の下の力持ちとなって活躍したさんの姿はすてきでした。

子ども達が運動会の取組を通して身に付けた「協力してやりきる力」をこれからの学校生活につなげていってくれることを願っています。

最後になりましたが、応援に駆けつけ、準備から片付けまで力をお貸しくださった保護者の皆様に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。また、PTA本部役員の皆様には、PTA種目の企画から準備まで大変ご尽力いただきましたが、当日の天候によりプログラムを変更しましたこと誠に申し訳ありませんでした。今後ご協力をお願いします。

